



上越医療圏の再編と センター病院改築は

本城 文夫（市民クラブ）



Q 急性期医療を担う県立中央病院と上越総合病院の一体的運営について、県立県営で維持してほしいとの声があるが、どう考えているか。

A こうした声を真摯に受け止め、丁寧かつ着実に取組を進めることが重要と考えており、引き続き関係機関等と連携を図っていく。

Q 上越医療圏の中期再編では、センター病院の病床数を150床に縮小することが検討されているが、どのように対応していくのか。

A 南病棟も活用して支障のないようにしたい。センター病院の早期改築の考えはどうか。

A 工法などについて事業者50社にアンケートを実施している。財源については、国に病院事業債の特例措置延長などの要望を行っている。

高田城址公園整備と枳形門復元は

Q 短期整備計画の前期計画にある園路舗装などが遅れているが、後期計画への影響はどうか。

A 極楽橋の老朽化が進んでいるため、今後予定している工事も含め、財源や優先度等を踏まえながら、整備スケジュールを見直したい。

Q 枳形門再現可能性調査の結果はどうか。

A 一定の条件を満たせば再現の可能性はあるものの、事業費は約33億円、期間は12年必要とされ、誘客効果が不透明で財源の目途も立っていないなど、再現の見通しは定まっていない。



防犯灯の維持管理 市への移管の検討を

山田 忠晴（公明党）



Q 町内会の負担が大きい防犯灯の維持管理を、市が担う方向で検討する考えはないか。

A 行政としてどのような支援が適切であるかなどの検討を進めているところであり、一定の方向性を示せる段階で改めて説明したい。

除排雪要望のLINE受付導入を

Q 除排雪要望をLINEで受け付ける仕組みを導入する考えはないか。

A 道路損傷の通報システムを活用した運用に向け、個人情報等の取扱い等の課題や対象とする要望事項の整理など、他の自治体の運用事例を参考に、導入に向けた検討を行っている。

小中学校への冷凍庫設置を

Q 児童生徒の登下校や生徒の部活動での熱中症対策として、冷却グッズを冷やすための冷凍庫を学校に整備する考えはないか。

A 現時点で様々な熱中症対策を講じており、学校への冷凍庫の設置を直ちに進める予定はないが、既に他の自治体での導入事例もあることから、導入の経過や運用上の課題などについて、情報収集に取り組みたい。



市立保育園へのおむつ サブスク導入を

山本 佳洋（市民クラブ）



Q 子育て世代の負担軽減や保育士の業務効率化のため、定額でおむつが提供されるサブスクリプション制度を保育園に導入してはどうか。また、災害時に在庫を無償提供するような防災協定の締結を検討してはどうか。

A おむつのサブスクは負担軽減につながる反面、保護者が利用したいおむつとの不一致や小規模園への参入の難しさといった課題もある。他市の事例を参考に保護者のニーズや保育現場の意見を把握し、課題がクリアできれば実証実験に向けて検討を行う。また、防災協定の締結も含めたサービス導入についても検討を進める。

プール授業の将来像は

Q 教員の管理負担、施設の老朽化による多額の修繕費などを踏まえ、業務量管理・健康確保措置実施計画における今後のプール授業の方向性を聞きたい。

A 計画ではプールなどの施設管理は「教師以外が積極的に参画すべき業務」に分類している。プールがない、または老朽化している学校は、市営プールなどの外部施設を活用している。教職員の負担軽減と教育の質を担保するため、他校のプールや市営施設の活用に加え、民間のスイミングスクールの活用や外部指導者の導入についても研究する。